

Question.

ロケーターアバットメントって何？

質問者

(東京都 M.W.さん・83回)

Answer.

ロケーターアバットメントとは図1に示すようにインプラントを維持とするインプラントオーバーデンチャー（IOD）に用いられるアバットメントです。

以前はIODに用いられるアタッチメントは「バーアバットメント」, 「マグネットアバットメント」や「ボールアバットメント」が主流でしたが, ロケーターアバットメントは2011年に日本で認可されたアタッチメントです。上顎では4本以上, 下顎では2本以上の埋入が推奨されています。現在は, 以下の理由でIODにロケーターアバットメントが使われるようになってきました。

◆ロケーターアバットメントの特徴として

1. 維持力が適切で調整が容易

数種類のキーパーが存在するため, それぞれの維持力を得ることができます。また, カラー分けされているので識別しやすいです。

2. 交換が容易

維持力が低下してきた場合は義歯側のキーパーを交換することによって元の維持力に戻すことができます。

3. インプラント体の平行性に寛容

複数のインプラント間の角度が40度以下であれば使用することができます。

4. 義歯のクリアランスに左右されにくい

義歯自体のクリアランスが少なく, 従来のアバットメントでは適応できなかった症例にも適応しやすい。

図1に示している矢印はロケーターアバットメントです。現在は様々なインプラントメーカーが販売していますが, 基本的にはキャップにはまる形態はどこのメーカーも同じです。

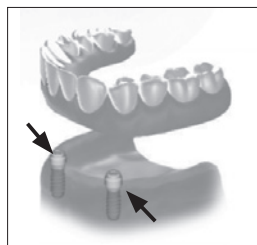


図1

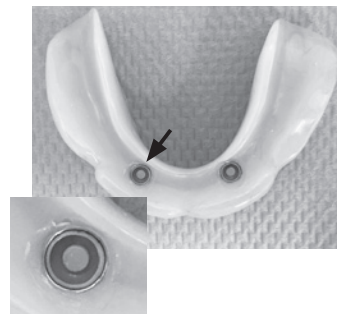


図2

次に, 図2に示している矢印の部分の部分がキーパーです。アバットメント上部の形態はメーカーに左右されないため, メーカーによるキーパーの違いはありません。最終的に図2のようにキャップとキーパーを義歯の内面に取り込むのですが, キャップを取り込む方法には直接法と間接法があります。その後, 専用の器具を使用してキーパーを付けます。ここにアバットメントがはまることによって義歯の安定を得ます。

現在, 日本口腔インプラント学会でも高齢者に対するインプラントのメンテナンスについて議論になっています。固定性補綴装置の場合, 何らかの理由で通院困難になり, メンテナンスを行えなくなった時, インプラントが原因で口腔衛生状態を清潔に保つことができないという状況を作り出してしまいます。その点, IODのような可撤性補綴装置は取り外しができるのでセルフケアが容易です。今後, IODの需要が多くなり, ロケーターアバットメントに触れる機会が増えていくのではないかと思われます。

質問の回答者



これさわ かずと
是澤 和人

附属病院 口腔インプラント診療科